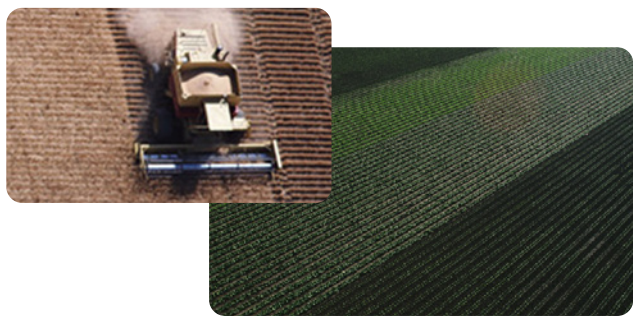


大豆輸入の流れと商社の機能・活動

外国

大豆の生産



商社は外国の大豆生産農家に経営資金の援助や生産性を高めるための技術支援を行うほか、自ら農家と協同で大豆の生産に取り組むとともに、有力穀物会社とパートナーシップを結んで大豆を買付けるなど、日本に必要な大豆の安定確保につとめています。

物流



商社は日本への大豆の輸送手配から、品質を保ち安全に保管するための貯蔵（ちよぞう）用サイロ・倉庫の確保、輸出の手続き、船の手配をし、万一の事故にそなえて保険をかけるなど大豆が安全に日本に届くようさまざまな活動をしています。

食用の大豆は品質を管理するためにコンテナに入れて船で日本まで運ばれます。



日本

小売



商社は製造された商品が消費者のもとへ安全に届けられるようスーパーなど小売店の経営も支援しています。

加工工場



商社は大豆を原料に「しょうゆ」「みそ」「豆腐」「菓子」などを製造するメーカーへ資金提供するなどし、安心して安全な品質の商品を製造できるよう支援しています。

入荷、貯蔵、出荷



商社は輸入された大豆が品質を保って保管貯蔵できる大型サイロや倉庫を確保し、安全な大豆を安心して全国に出荷できるように取組んでいます。

消費者のもとへ

海外へ輸出

しょうゆ、みそなどの加工された製品は、商社を通して、海外へも輸出されます。